

# はしがき

グローバル化した現代では、インターネットでのやり取りが増え、英語で書くことの重要性が高まっています。アカデミックな場で、あるいはビジネスの場で将来必要とされるのは、明確で、客観性、論理性を備えた英語の文章が書けることです。本書は、その基礎固めをするための教材です。


- ◆本書は、英語のライティングで重要な、パラグラフやエッセイの論理展開の仕方を学ぶことを目的としています。それぞれのトピックや論理展開に関連した文法・語彙・言い回しも流れの中で触れるようにしました。話し言葉と書き言葉の違いについても学生が意識できるよう、配慮しています。
- ◆説明はなるべく抑え、その代り各章に多様な **Task** を用意しました。学生にとって身近なトピックを集めており、楽しく作業を行うことにより発見的に内容を理解することができます。ペアやグループによる話し合いを通じて、問題解決をしながらお互いに学ぶことができます。自分で納得しながら学んでいく態度、つまり自律性を養うことができるのです。
- ◆書いていく段階で、考えが深まり、また前に戻って書き直しをする必要が出てきます。このやり方をプロセス・ライティングといいます。学生は自力で、またはペアで、**checklist** を使いながら推敲することを学んでいきます。
- ◆パラグラフやエッセイの論理構成を重視するのは、文化の違いによるものです。日本語と英語は、言語的にも文化的にも距離があり、説得力の持たせ方にも違いがある場合がありますので、本書では、学生がそれを意識できるよう工夫されています。
- ◆ライティングに社会性を持たせました。アカデミックな場やビジネスの場でライティングをする場合、そこには必ず事実を調べるという要素と、それを社会的に発表するという要素が関わってきます。そのひな形を体験することにより、学生はライティングの意味に気付いていくことでしょう。


以上のような特徴を持つ本書は、グローバルな世界で学生に本当のコミュニケーション力をつけさせたいと願っている先生方の大きな力になると考えます。


## 本書の構成と使い方


本書の全 15 章は、それぞれの章が異なるトピックと、そのトピックに関連した論理展開の方法を扱っています。例外は、第 4 章（パラグラフの書き方）、第 7 章（プロセス・ライティングとは）、第 12 章（パラグラフからエッセイへ）の 3 章で、ここでは全体を貫く英語ライティングの基本概念につき、まとめて説明を行っています。この 3 章を含めいずれの章も、学生が順を追って Task を行うことにより、発見的にその重要性に気付くような構成になっています。Task 中心のため、各章のポイントは囲み記事として簡潔に説明されていますので、授業のまとめとしてお使いいただけます。

各章内の構成は、どの章もほぼ同じで、Pre-writing, Integrated Tasks, Guided Writing, Extended Activities という 4 つの段階からなっており、それぞれの中にくつかの Task が含まれています。4 つの段階を踏むことにより、統制の利いた状態での作文から、より自由度のある作文に移行できるため、学生にとって無理なく完成度の高い作文に到達することができます。また、教師にとってもフィードバックのポイントを絞ることができ、教えやすくなります。

 **Pre-writing** CD を使った聞き取り、学生同士の会話などにより、その章で扱う内容や論理展開の方法に学生の注意をひきつけます。

 **Integrated Tasks** Pre-writing で気づいた論理展開方法の知識を使ってモデル文の分析を行ったり、特にその論理展開に関連する文法事項や言い回しなどについて学びます。

 **Guided Writing** 明確な状況設定のもと、指示に従って書きます。ある程度しっかりした構成のライティングを産出できるようになります。

 **Extended Activities** 簡単なリサーチをし、その章で学んだ論理展開方法を使ってまとめます。各章のまとめとして、また、ライティングの意味を明確にするためにもリサーチを伴う発表の場を設けていただくのが理想ですが、授業時間数やクラスの状態によっては宿題にさせていただいたり、先生方のご裁量でご利用いただけます。

本書をお使いになる上で便利な checklist や freewriting 記録用グラフなどが巻末に用意されていますので、ご活用ください。

最後に、私たちの執筆を様々な面で支えてくださった金星堂のみなさんに深く御礼申し上げます。

# Contents

Chapter 1	<b>Introducing Yourself</b> _____	2
	■ 定義	
Chapter 2	<b>Writing a Story by Yourself</b> _____	10
	■ 出来事や経験を語る	
Chapter 3	<b>Writing Your Own Recipe</b> _____	18
	■ 手続きや手順の説明	
Chapter 4	<b>Different Varieties of English</b> _____	26
	■ パラグラフの書き方	
Chapter 5	<b>Describing Interesting People and Places</b> _____	34
	■ 描写	
Chapter 6	<b>Expressing Your Feelings</b> _____	42
	■ 例を挙げる	
Chapter 7	<b>Introducing Your Hometown</b> _____	50
	■ プロセス・ライティングとは	
	アカデミックな英文を書く _____	58
Chapter 8	<b>Studying More about the World</b> _____	60
	■ 分類	
Chapter 9	<b>Why Are They So Popular?</b> _____	68
	■ 理由	
Chapter 10	<b>Why Have Fast Food Shops Become Popular in Japan?</b> _____	76
	■ 原因と結果	
Chapter 11	<b>Comparing <i>Shogi</i> and Chess</b> _____	84
	■ 比較・対照	
Chapter 12	<b>Things Can Be the Same; Things Can Be Different</b> _____	92
	■ パラグラフからエッセイへ	
Chapter 13	<b>Expressing Your Opinion</b> _____	100
	■ 意見文	
Chapter 14	<b>International Students at Various Universities</b> _____	108
	■ グラフの解釈	
Chapter 15	<b>Presenting Yourself</b> _____	116
	■ 自己アピール	
	Read and Look Up _____	124
	Paragraph Format _____	126
	Paragraph Checklist _____	127
	Peer-Editing Checklist _____	128
	Freewriting Record _____	129

## Pre-writing

## Task 1

**Step 1** 次の質問に主語と述語を持つ完全な文で答えてみましょう。

What is your name?  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

Are you in a circle or club?  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

What is your favorite pastime?  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

Which part of Japan are you from?  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

What are you majoring in?  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

Do you have a part-time job?  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

**Step 2** Step 1 の質問や答えを使って、ペアで会話をしましょう。

**Step 3** Step 2 の活動で使った情報を順序良くまとめて、4 人のグループで自己紹介しましょう。興味のわいた内容について、さらに質問しましょう。

## 便利な表現

major in (information science): (情報科学) を専攻する

Department of (Pharmacy): (薬) 学部

be from (Okayama): (岡山) 出身です

one's pastime: 気晴らし

**Task 2**

CD 02

会話を聞いて、加奈さんがどんな人かまとめなさい。

## 加奈さんのプロフィール

出身地	
住んでいる場所	
専攻	土木工学
クラブ・サークル活動	
アルバイト	

**Integrated Tasks****Task 3**

CD 03

加奈さんが自己紹介の内容から1つのトピックを選んでパラグラフを書きました。CDを聞いて空所を埋めなさい。また、加奈さんはTask2のトピックのうちどれを選んだか、答えなさい。

**Paragraph 1**

I am Kana Hosokawa, and I am a member of the *Iaido* Circle. The circle has a long history, but (1) we have only five members. Even though our (2) is small, we are working hard now to prepare for our (3) match with an Australian university. Why don't you come watch when I practice with my (4) sometime?



## 定義の仕方

聞き手にとって不明の単語を説明するときには、大きく分けて3つの方法があります。

1. 単語を言い換える。あるいは、同義語 (synonym) を使う。  
(例) *kendo*, or Japanese fencing
2. 似たものにたとえる。類似 (analogy) を使う。  
(例) *Iaido* is something like *kendo*.
3. 辞書のように定義をする。  
(例) *Iaido* is a Japanese martial art, in which one learns the smooth, controlled movements of using a sword.

辞書のように定義する3のやり方が一番正確です。この場合、1つのパターンがあります。まず、何の種類か (class)を述べ、その種類のものの中で、どのように他のものと違うのか (difference)を述べます。「居合道」の例では、*a Japanese martial art*が人間の様々な活動の分類の中の「日本の武道」であることをまず述べます。この中には剣道や柔道なども含まれますから、さらに詳しく「居合道」の特徴を付け加えます。上の3の例を訳すと、以下のようになります。

日本語訳:居合道は、剣 (sword) をなめらかに、抑制された (controlled) 動きで用いることを学ぶ日本の武道である。

## Task 4

以下の単語の定義の、種類 (class) を述べている部分に2重の下線を、違い (difference) を述べている部分に1重の下線を引きなさい。

### 1. **civil engineer:**

An engineer who designs roads, bridges and dams.

### 2. **kendo:**

A Japanese martial art of sword-fighting, which was developed from traditional techniques of Japanese swordsmanship known as *kenjutsu*.

### 3. **aikido:**

The art of self-defense derived from judo, in which holds and throws are made using the opponent's joints.



同じようにして、自分の自己紹介で使った単語を1つ定義しなさい。

word	class	difference

### Task 5

例にならって定義をしましょう。例のように関係詞を使ってみましょう。分からなかったら英英辞書を引いて参考にするのもいいでしょう。

(例) Curling is a game played on ice, **in which** players slide heavy flat stones toward a mark.

1. Jazz is a type of music with strong rhythms

2. Basketball is

3. *Bon-odori* is

#### イタリック体

英語を書くとき、次の場合はイタリック体（斜体）を使います。

- ① まだ英語になっていない外国語 (例) *natto*, *Bon-odori*
- ② 本、映画、新聞、雑誌などのタイトル (例) *Gone with the Wind*
- ③ 特に強調したい表現 (例) p. 10 の *doggy bag*

## Guided Writing

### Task 6

Task 3 の加奈さんの作文に対して、グループのジョン君から質問ができました。ジョン君の質問に対する答えを、下記の①～③の中から選び、その数字を( )に入れなさい。



- ① When I practice *iaido*, I can feel the spirit of samurai, which is lost in our daily life.
- ② We practice *iaido* at the gym on Tuesdays, Wednesdays and Fridays.
- ③ *Iaido* is a Japanese martial art, in which one learns the smooth, controlled movements of using a sword.

#### Peer-feedback は大切!

Paragraph 1 には一般的な情報しか含まれていなかったため、この文章を読んだジョン君からいくつかの質問がきました。ジョン君に対して答えたような内容を盛り込むと、もっと分かりやすい文章になります。

このように、書いた文章を友達など誰かに読んでもらおうと、自分では気づかなかったことを指摘してもらえるので大変有益です。



## Task 7

Paragraph 1 にジョン君の質問への回答を盛り込んで Paragraph 2 を完成させましょう。新たに加わった情報に下線を引き、Task 6 のどの回答を反映したものであるかを番号で示しなさい。最初の解答例は示してあります。

### Paragraph 1

I am Kana Hosokawa, and I am a member of the *Iaido* Circle. The circle has a long history, but currently we have only five members. Even though our membership is small, we are working hard now to prepare for our coming match with an Australian university. Why don't you come watch when I practice with my teammates sometime?

.....

### Paragraph 2

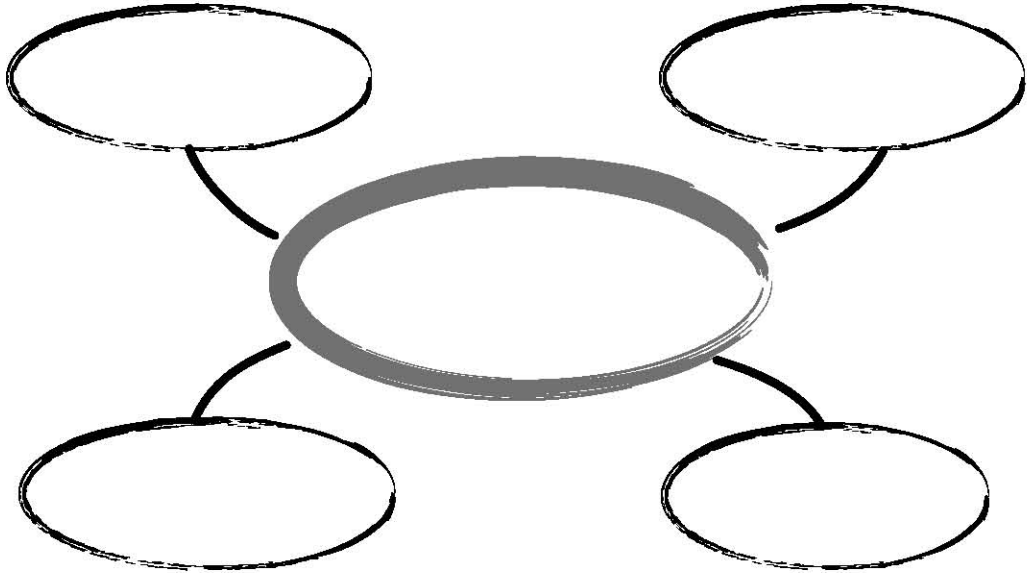
I am Kana Hosokawa, and I am a member of the *Iaido* Circle.  
③ *Iaido* is a Japanese martial art, in which one learns the smooth, controlled movements of using a sword.

## Task 8

**Step 1** 以下の自己紹介に関するトピックの中から、一番書きたいトピックを選びなさい。

( ) 出身地 ( ) サークル ( ) 趣味 ( ) アルバイト ( ) 授業

**Step 2** そのトピックに関連したことをいろいろ書き出してみましょう。このような図を idea map といいます。



**Step 3** Step 2 の idea map をもとに、自己紹介のパラグラフを書いてみましょう。

( )
I am _____, and I _____.
_____
_____
_____
_____
_____

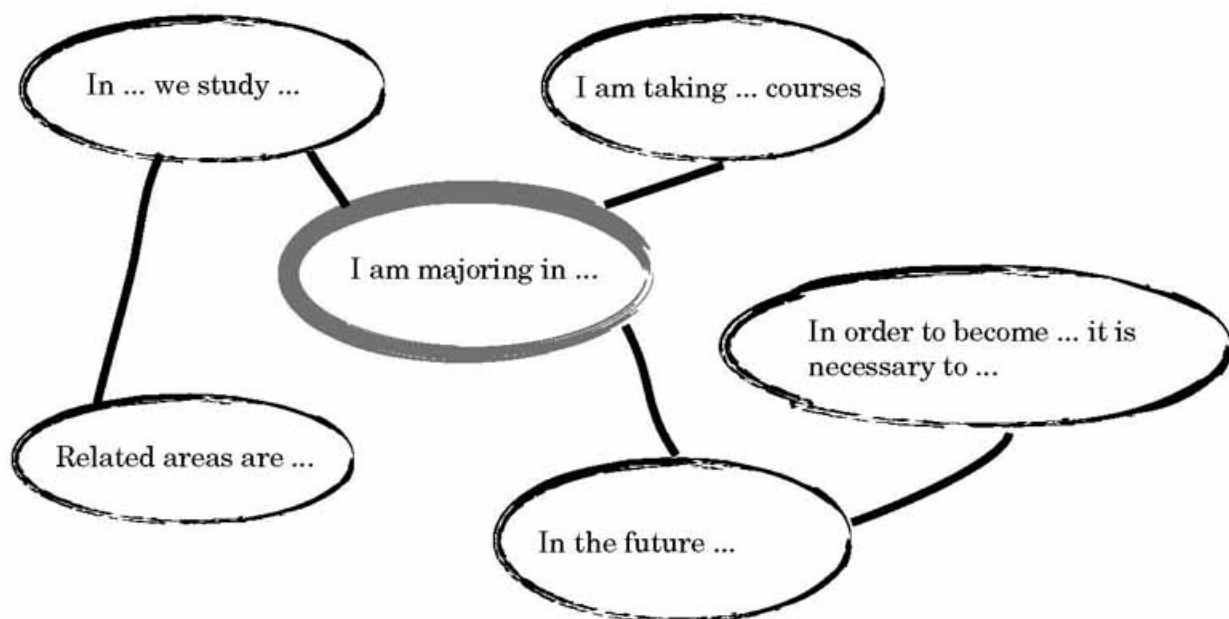
**Step 4** Step 3 の作文をグループの中で回し読みして、不明な点や説明の欲しい点についてコメントを書きましょう。

**Step 5** グループのコメントに答えられるよう、できるだけ定義を使って詳しい説明を加え、書き直しをしましょう。

## Extended Activities

### Task 9

自分の専攻分野によく出てくる概念・語句についてインターネット・本・辞書などを使って調べ、それらを使いながら自分を紹介するための idea map を描きなさい。



### Task 10

Task 9 の図を参考に、(1) 自分は何を専攻し、(2) その分野は何を扱い、(3) 自分は何を学んで何を将来したいのか、について述べなさい。説明の中に定義を1つ以上使うようにしましょう。